

平成三十一年
新春を迎えて



新年あけましておめでとうございませう。

町民の皆さまには、輝かしく、希望に満ちた平成三十一年の新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げますとともに、改元の年となります大きな節目の新年が皆さまにとりまして、また、鹿部町にとって、素晴らしい年でありますよう心からお祈り申し上げます。

私は、平成三十年度を「更なる挑戦」と「確実な実行の年」と位置づけ、盤石な漁業体制づくりや食と観光によるまちづくりを力強く推し進め、鹿部のまるとブランド化を目指し、平成三十年度中に次の五つの大きな決定をして参ることをお約束いたしました。

1. グランドデザイン
2. 地域公共交通
3. 道の駅山側の温浴施設整備
4. 保育体制
5. 再生可能エネルギー事業

一つ目のグランドデザインにつきましては、明確な将来像（ビジョン）を共有するため、「土地利用計画」に着手しており、平成三十年度末には皆さまにお示し、そのうえで、幼稚園園舎、役場庁舎、消防庁舎の建て替え事務等を執り進めて参りたいと考えております。

二つ目の地域公共交通につきましては、平成三十年度中に実証実験を行う計画でございますが、財源等の関係上、平成三十年度は運行形態について丁寧に議論を重ね決定し、平成三十一年度、北海道などの支援を受けながら実証実験を実施す

ることといたしました。三つ目の道の駅山側の温浴施設整備に関しましては、各調査の結果、民間企業単独で参入意向を示す企業が現れない状況の中、新たな受け皿となる団体等の構築、食と観光によるまちづくりを推し進める「にっぽんA級グルメのまち連合」を鹿部町含む全国五つの市町で平成三十年十一月十三日に設立し、先進的なまちづくりの運営、資金調達ノウハウの共有や東京事務所との合同開設による人材確保を連合の市町と連携して取り組むこととなりました。

この新たな支援体制を活用し公共施設の建て替えや道の駅運営等と併せ、より経済波及効果の大きい事業計画を作成し、温



「にっぽんA級グルメのまち連合」設立調印式

浴施設整備に向けた事務を執り進めて参ります。

次に四つ目の保育体制でございますが、課題でありました〇歳から二歳までを対象とした保育体制に関しても、町の独自事業という枠組みで平成三十年十月一日から開始し、切れない保育体制を構築することができましたが、鹿部町らしい子育て支援の更なる充実に向け今後も改善を重ねて参ります。



しかべ保育事業「ひよこ」

五つ目の再生可能エネルギー事業に関しましては、現在、地熱を中心とした勉強会を実施しており、今後も町といたしまして、積極的に地熱や水力のほか、

間伐材なども含めました再生可能エネルギーの利活用に取り組みます。このほか、平成三十年度の大きな目玉政策であり、循環型地域経済の確立に向けた中小企業チャレンジ支援事業補助金の創設、漁場造成の拡大、漁業分野の人材育成事業、幼稚園の夏休み冬休みの預かり保育の本格実施、幼小中の教材完全無料化、英語検定受験料の助成、各世代が集う交流の場「コミュニティカフェ」のプレオープン。



「鹿部町コミュニティカフェ」(宮浜児童館)

また、当町におきましては古くから防災体制に万全を期して参りましたが、より安全安心な

まちづくりのため、主要道路の安全確保要望や、各種インフラ整備に加え、平成三十年度は自主防災組織への支援や、役場職員による地域担当職員の班編成を行いました。

担当職員はじめ各関係団体の皆さまや関わってくださいました全てのの方々の圧倒的な熱意とご尽力により、「挑戦」と「実行」を重ねることができました。

平成三十年十一月一日、大正十三年の発見から、これまで、地域で守り育ててきた、「しかべ間歇泉」が見事、第六十三号



しかべ間歇泉北海道遺産選定記念セミナー

の北海道遺産に選定されました。こちらに関しましては、並々ならぬご尽力くださいました関係各位の皆さま方に心から重ねて感謝申し上げます。

最後に、基幹産業でございませす水産業は、各魚種において不安定な漁が続き、さらには、近年の地球規模での環境変化や異常気象などによる、災害が頻発しており、非常に厳しい状況と認識しております。

漁業者の皆さま方の安心のため、育てる漁業、浅海漁業などに力を注ぎ、道の駅を拠点にA級グルメ構想の理念である、「本当に美味しいものは地域にあつて、その美味しさを本当に知っているのは地域に暮らす人々で、彼らが誇りをもってつくる食は全てA級と呼ぶべきであり、永久に残さなければならぬ」。

この理念を全国へと発信し、鹿部ブランドを確立し、量から質へ、都市から地方へと、顔の見える漁業を推し進め、漁模様で一喜一憂することのない盤石な漁業体制を構築し、もう一度、地域の誇りを取り戻し、お金持ちじゃない、幸せ持ちの沢山いる、日本一、魅力ある漁師町、

日本一、行ってみたい、住んでみたい漁師町を目指し、鹿部ならではの豊かさの「かたち」を築くために、町民の皆さまと力を合わせ、オール鹿部で立ち向かい、日本の新たな元号元年の年を「鹿部新時代・元年」としたいと考えておりますので、今後とも変わらぬご理解、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆さま方の益々のご活躍とご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成三十一年元旦

鹿部町長 盛田 昌彦

